

ほおの木 特別支援教育プラン31

福島県喜多方市立第二小学校

子ども同士の学び合いを通して、学ぶ喜びを感じ、自信を持って表現できる子ども

〈特別支援学級における子ども一人一人の学びの高まり〉

- 「やってみよう」という思いを持ち、自らすすんで学習する子ども
- 友達との学びを自分の力にできる子ども
- 学習したことを生活に活かせる子ども

〈学び合いを創る授業づくりの視点〉

【視点1】 問いつくり	【視点2】 ともに思考する場づくり	【視点3】 学び合いの価値付け
<ul style="list-style-type: none">① 興味関心を持てる教材の工夫② 見通しを持てる学習内容の提示③ 「やってみよう」と思える課題提示の工夫 (提示した課題についての理解度を把握する)④ 振り返りにつなげる評価の提示	<ul style="list-style-type: none">① 自分で課題に向かえるための工夫② 友達の考えや取り組みを見たり聞いたりできる学習展開の工夫③ 繰り返しの学習を活かし安心して活動できる状況作り④ 発信・受信・発信をつなげるための手立ての工夫(教師のコーディネート)⑤ 具体的、体験的な活動の工夫	<ul style="list-style-type: none">① 自分自身の学習を振り返る場面の設定<ul style="list-style-type: none">・言葉や身ぶりでの振り返り・具体物(ワークシート、掲示物など)を使っただの振り返り② 友達の姿を振り返り認め合う場面の設定③ 振り返りへの具体的な賞賛

〈育てるための手立てとして〉

〈育成したい思考力・判断力・表現力〉

課題を解決する過程を通して学んだことを、生活の様々な場面で活用できる力

- 自分の考えや思いを伝える力。
- 友達の考えや思いを受け止める力(受け入れる力)。
- 自信を持ち、様々な場面で積極的に表現し行動できる力。

〈子どもの実態と教師の願い〉

- ・自分の課題に対して、意欲的に取り組むことができる。
- ・友達の取り組みを見て行動に移したり、がんばってやってみようとしたりできる。
- ・自分の考えや思いをうまく伝えられず、もどかしい思いをしてしまうことがある。
- ・見通しが持てない、自信がないことに対する抵抗感があり、学習に対して消極的になってしまうことがある。

- ☆友達や教師と一緒に学習する楽しさの経験を重ね、ともにたくさんのことを学んでほしい。
- ☆友達との学びを通して、表現するスキルを身に付け自信を持って表現できるようになってほしい。
- ☆繰り返しの学習で身に付けたことを生活の中で活かしてほしい。